

発行：はつらつ編集局
 発行日：平成23年12月1日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：はつらつ編集委員
 お問い合わせ：0135-23-3126



研修医リレーコラム43

「子宮筋腫と不妊症について」

私は11月に余市協会病院で研修していました。私は婦人科医、とくに現在は不妊症治療について勉強しているということもあり、婦人科で頻度の高い子宮筋腫と不妊症についてお話させていただきます。

まず、不妊症についてです。あまり聞きなれない方、聞いたことがあるけれどもあまり知らない人も多いと思いますが、不妊症とは定義上、正常な夫婦生活を送っていても2年（アメリカでは1年）たっても妊娠ができないことを言います。夫婦10組のうち1組に当てはまると言われており、最近では7組に1組とも報告している先生もいます。原因は男性にも女性にもあり、色々報告はありますが、半々だという方が多いです。女性の不妊症の原因となりうる疾患は色々ありますが、今回は頻度の高い子宮筋腫と不妊症の関係とその治療をお話ししようと思います。

子宮筋腫についてです。子宮筋腫は子宮にできる良性疾患で、丸い腫瘤を形成します。婦人科では最も罹患率の高い疾患で成人女性の30~40%に発生すると言われていています。おもに30~40歳代に多くみられます。発生の原因としてはホルモンの関与や遺伝子の関与が言われていますが、いまだにはっきりとはわかっていません。症状としては何もない人が多く、ある人では月経困難症（月経時の痛みなど）、過多月経（月経血が多い）、貧血、便秘や頻尿、腰痛等があります。

なぜ子宮筋腫が不妊症になるのかははっきり分かっていませんが、子宮の変形が生じるためという報告や、子宮筋腫があると子宮の運動が過剰になっているという報告があり、それらのために受精した卵が着床（卵が子宮にくっつくこと）しにくいために妊娠しにくいのではないかと考えられています。

実際に、不妊症治療を受けている人で、子宮筋腫がある人は手術の適応となります。手術としては腹腔鏡下子宮筋腫核出術が標準的治療となっており、腹腔鏡で子宮筋腫だけをくりぬき、削り取ってくるというものです。

不妊症で子宮筋腫があり手術を受けた人の妊娠率は術後5年間に70%になると言われています。

以上でざっくりとした説明でしたが、子宮筋腫と不妊症の関係と治療について説明させていただきました。このコラムではあまりないジャンルのお話だったかもしれませんが、なんとなくわかっていただけたでしょうか!?



斗南病院研修医 2年目 岩城 久留美

年末年始の診療について

休 診

12月30・31日

1月1・2・3日

午前診療

1月4日（水）

1月5日より通常の診療となります。



患者サービス向上委員会

天使の歌声と笑顔をお楽しみください。
 皆さんご存じの曲もありますので一緒に歌いましょう。多数の参加をお待ちしています。

【日時】12月16日（金）18:00より
 【場所】協会病院 待合ロビー
 【演目】大川ジュニアコーラスによる合唱 他

「クリスマス会」の御案内



救急件数（11月）

外来受診202件 うち入院32件
 救急車来院50件 うち入院19件

編集後記

師走に入り、ドタバタ自分の家も掃除などをして少し慌しいです。年末と言えば「年末ジャンボ宝くじ」！！今年はいくら当たるのか……。夢は大きく持ちたいものです。それでは皆さん、良い年になりますように！（編集委員 Uち矢）